

評価結果概要表

【評価実施概要】

作成日 平成21年 6月16日

事業所番号	2770108583	評価機関名	特定非営利活動法人 近畿マネジメント・サポート・センター
法人名	医療法人一隅会	所在地	大阪市東住吉区山坂5丁目5番14-103号
事業所名	医療法人一隅会グループホーム 美原	評価調査日	平成 21 年 6 月 11 日
所在地	堺市 美原区 太井91番 電話 072-369-1611	評価確定日	平成 21 年 6 月 22 日

【情報提供票より】

(平成21年 5月 18日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成17年12月1日
ユニット数	ユニット 2 利用定員数 18 人
職員数	常勤 14人 非常勤 1人 常勤換算 6.7人

(2) 建物概要

建物の構造	鉄骨 2階建 2階建ての(1階~2階部分)
-------	--------------------------

(3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃	39,900円	その他の経費 (月額 22,050円)		
敷金	無 ()			
保証金の有無 (入居一時金を含む)	保証金 有 280,000円	償却期間 4.6年		
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,200円			

(4) 利用者の概要 (5月 18日現在)

利用者人数	17名	男性	3名	女性	14名
要介護1	3名	要介護2	4名		
要介護3	6名	要介護4	2名		
要介護5	2名	要支援2	名		
年齢	平均 82才	最低	67才	最高	92才

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人清恵会清恵会病院 医療法人修成会 松浦歯科診療所
---------	---------------------------------

【外部評価で確認された、この事業所の特徴】

理事長が、主治医として定期的に利用者の検診と治療を実施されており、利用者の体調の変化を判断するに不可欠な情報の共有については、管理者が主となって看護師や職員と連携し、適切に対応する体制を確立している。又、年間行事等の催しには食事会を実施して、利用者の健康増進への意識を高め、健康意欲への励みとなって効果を上げている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題と、その後の取り組み、改善状況 (関連項目: 外部4)
	前回指摘のあった服薬準備ミスの防止については、ホームの内部研修に加えて、日常の支援業務でも二重にチェック処理をする体制を確立し、実践運用され定着している。更に、理事長または管理者が定期的に重要事項に対する取り組みについて、訓示をしている。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)
	外部評価を利用者、及びご家族に説明し、理解を得ながら管理者と職員は、<気づき>を大切にされた介護計画を作成し、実践に取り組んでいる。その結果、利用者、介護者共に、生き生きとした表情で日々の生活を送っている。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容、及び、それらを活かした取り組み (関連項目: 外部4、5、6)
	運営推進会議を2ヶ月に1回、情報交換を中心に開催している。しかし、前年度は地域代表、ご家族代表の出席が少なく欠席が目立った。平成21年度の目標として、メンバーの出席率の向上と、更なるサービスの質の向上につながる取り組み提案と、意見交換の活発化に期待したい。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7、8)
	玄関ホール横の下足箱の上に苦情、提案箱を設置してホームの運営や、日常生活について、ご意見を承っている。そして、受理した苦情、不満の処理は、管理者と職員が中心となり、直ちに対策を立てて改善し、課題の解決に取り組んでいる。
重点項目⑤	日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)
	自治会に加入し、地域行事にも参加し、更に地域のグループホームとの交流も進み、サービスの質の向上に活かしている。平成21年度はこれをもっと充実して、推進会議との連携も考え、定着化する取り組みに期待したい。

（ 部分は重点項目です）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I 理念に基づく運営					
1 理念と共有					
1	1	○ 地域密着型サービスとしての理念 地域の中で、その人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「尊重、安心、満足」を理念として、利用者が日常生活を自立して営むことができるよう、能力に応じた生活機能の維持、又は向上のための支援に努力している。		
2	2	○ 理念の共有と、日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	介護計画は、利用者が必要な適切なサービスを提供することで、管理者と職員は協力して関係機関に働きかけ、必要な情報収集に取り組みながら成果をあげている		
2 地域との支えあい					
3	5	○ 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等の地域活動に参加し、地域の人々と交流することに努めている	自治会に加入し、地域行事にも参加している。同一区内のホームとサービス向上を目指した会合に出席し、相互訪問や交流も行っている。		
3 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○ 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価結果を、利用者及びご家族にも十分説明し、理解を得ながら管理者と職員は相互に検討、研究を重ね、サービスの向上に取り組んでいる。		
5	8	○ 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について、報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービスの向上に活かしている	情報交換を主としているが2ヶ月に1回開催されており、実際のサービス向上への取り組みに活かしている。	○	運営推進会議のメンバーの出席率と、サービスの質の向上につながる提案や意見交換の活発化に期待したい。
6	9	○ 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	各種の申請手続きに際し、担当部署を訪問して相談し、直接、意見交換も行っている。		
4 理念を実践するための体制					
7	14	○ 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び、個々にあわせた報告をしている	ご家族に対し、2～3ヶ月に1回書面で近況報告書を送付しているが、更に必要時、個別に電話等の通信手段を活用して連絡を取り合っている。	○	家族を含め、来訪者が少ないとのことですが、広いガレージを活用して地域の住民と連携し、催事をプランニングする等をして、交流拡大への取り組みを期待したい。
8	15	○ 運営に関する家族等の意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情の発生（受理）に際しては、管理者・又はユニットの責任者が中心となり早急に解決に当たっているが、職員も、その問題点をサービスの向上への取り組みに反映させている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	9 18	○ 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動は、利用者に影響を与えることもあるので、実施する場合は、最小限にするように配慮しているが、やむ得ず行われる場合を考え、職員のユニット間交流の場を設け、利用者との顔なじみの機会を設けている。		

5 人材の育成と支援

	10 19	○ 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の育成は、日常業務処理を主体とした(OJT)方式を実施している。外部研修については、その都度、必要性を判断しながら参加している。		
	11 20	○ 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて質を向上させていく取り組みをしている	地域内のグループホーム間の交流は、定期的に行われており、積極的に参加している。		

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1 相談から利用に至るまでの関係づくりと、その対応

	12 26	○ 馴染みながらのサービス利用 本人が安心し納得した上で、サービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用希望者が安心し、納得して利用者となるための生活体験の場が設けてあり、レクリエーション(エレキギターを楽しむ等)参加への配慮が行われている。		
--	-------	---	---	--	--

2 新たな関係づくりと、これまでの関係継続への支援

	13 27	○ 本人と共に過ごし、支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者と職員は、一緒に過ごしながらかた喜びを共にし、相互に学び合い、支えていく関係を高める努力をしている。		
--	-------	--	---	--	--

III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1 一人ひとりの把握

	14 33	○ 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	常に利用者やご家族の希望が反映出来るよう、その意向の把握に努めている。		
--	-------	---	-------------------------------------	--	--

2 本人がより良く暮らしを続けるための介護計画の作成と、見直し

	15 36	○ チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の作成は、利用者・ご家族・関係者と良く話し合い、その意見・アイデアが活かされ、反映されるよう努力して作成している。		
--	-------	--	---	--	--

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
16	37	○ 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	介護計画の見直しは、利用者・ご家族と関係者が話し合い、現状に即した計画を作成している。		
3 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○ 事業所の多機能性を活かした支援 本人や、家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	理事長（内科医＝主治医）による週1回の往診と、看護師の訪問を行っている。緊急時の即時対応に対する（協力医療機関）への体制も確立している。		
4 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○ かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られた、かかりつけ医と、事業所の関係を築きながら、適切な治療を受けられるように支援している	主治医・看護師による定期的な往診、また必要に応じて連携医療機関での受診・検査の実施・入院等に備えた体制を整備している。	○	現在センサーマットを設置し利用しているが、AEDの活用についても、検討を期待します。
19	47	○ 重度化や週末期に向けた方針の共有 重度化した場合や、終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびに、かかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化・終末期の対応については、利用者のご家族の意向に配慮し、話し合っ決めていく。看取りについては、入所時に同意書・確認書の交換をしておき、職員は前もって見通しや、方向性を共有し、対応している。		
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1 その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○ プライバシー確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない	職員は、プライバシーに関する理解を共有し、常に、その確保に努力している。		
21	52	○ 日々の、その人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日々、その人らしい生活を送ってもらうために、利用者本人の希望・要望・を尊重し、無理強いをしないような支援に努力している。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○ 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者と職員が一緒になって、食事の準備や片付けをすることで、共同生活を共有し、実感出来るように努めている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	23	57	<p>○ 入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>曜日、時間等の希望には添えないが、季節に合わせて、ゆづ風呂や入浴剤を使用して、入浴を楽しめるよう支援している。</p>	

(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援

	24	59	<p>○ 役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>利用者の気晴らし、楽しみごとの支援として、買い物・カラオケ・外出・外食・掃除・調理・花壇・外気浴等への支援に努めている。</p>	
	25	61	<p>○ 日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりの、その日の希望にそって戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>当ホームでは利用者に対して、外出支援と連動した外食（主として西洋料理）をすることで、活力回復への励みを与えている。</p>	

(4) 安心と安全を支える支援

	26	66	<p>○ 鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中、玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>当ホームの環境を考えて、危険回避のためには施錠やむ無しと判断し、鍵かけケア支援に取り組むこととしたが、その不安解消には最大限の取り組みを行っている。</p>	
	27	71	<p>○ 災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>消防署の指導・協力による訓練を年2回実施しているが、他に自主訓練として、通報の手順等の確認と共有に努めている。</p>	

	28	77	<p>○ 栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>水分と食事量の摂取については、個人別に記録を管理しており、栄養バランスを考えて食習慣に合った支援に努めている。</p>	
--	----	----	---	--	--

2 その人らしい暮らしを支える生活習慣づくり

(1) 居心地のよい環境づくり

	29	81	<p>○ 居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用場所に生活感や季節感を採り入れて、利用者それぞれの作品を展示したり、記念の写真等を貼り出して、居心地良く過ごせるよう工夫し、支援している。</p>	
	30	83	<p>○ 居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室の家具類の殆どが利用者の持ち込み品で、好みの物を活かし、安心して生活が出来るように配慮している。</p>	